

3月定例会教育行政報告

1 各種大会等の出場結果について

令和7年3月3日

中標津町教育委員会

12月定例会以降の教育行政につきまして、ご報告いたします。

1 各種大会等の出場結果について

「各種大会等の出場結果について」です。

はじめに、小中学生の結果です。

音源審査で開催された令和6年度（第53回）HBCこども音楽コンクール「小学校・重唱部門」に合同参加した中標津小学校、丸山小学校が最優秀賞を受賞、北海道代表校として同じく音源審査で開催されました令和6年度「こども音楽コンクール」に出場し、1月26日の選考会において、見事1位となる「文部科学大臣賞」を受賞しました。

次に、1月7日から阿寒湖で開催されました「第47回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会」において、丸山小学校3年男子が500mと1000mで1位となったほか、同校5年男子が500m2位、同じく5年女子が1500mで2位、中標津東小学校5年女子が500m3位の成績を収めました。

次に、1月11日から苫小牧市で開催されました「北海道中学校スケート大会」に出場した、中標津中学校1年男子1名が全国

大会への出場権を獲得し、2月1日から長野市で開催されました「全国中学校スケート大会」1500mと3000mの2種目に出場し、健闘してまいりました。

続きまして、農業高校の関係分です。

農林水産省が主催する「みどり戦略学生チャレンジ」北海道ブロック大会に植物活用研究班（野菜班）が応募したところ、全道高校の部19件の中から全国大会に選出され、47都道府県より、高校の部221件の中から、大臣官房長賞を受賞しました。

今回、取り組みした課題は、「微生物の力で生産性向上！～光合成細菌を用いた地場産野菜の生産」で、光合成細菌の実用化に向け、自家培養から地場産野菜の販売普及までの活動です。

この取り組みは昨年度の「全国高校生農業アクション大賞」の認定に続き、複数の機関に認められました。

次に、昨年12月、根釧の未来を創る若者によるアントレプレナーシップの醸成を目的とする、No Maps（ノーマップス）釧路・根室2024高校生ビジネス&地方創生コンペティションに出場した肉加工研究班が、釧路管内13校29チームの中から優秀賞を受賞しました。

今回受賞したのは、「エゾシカをプロデュース～目指せ!! S D G s
に向けたエゾシカ普及計画～」で狩猟・駆除されたエゾシカを副産
物まで含めて”まるごと”活用し、エゾシカ駆除に伴う廃棄物を減
らすとともに、地域資源として有効活用する活動です。

各種大会への出場は、他の参加者との交流や活動の様子を見聞き
でき、さらに知識と技術を習得し、社会に出て活躍できる実践力の
育成に結びつくことが期待されるところであります。

以上、1点について申し上げ、12月定例会以降の教育行政報告と
させていただきます。